

- トルコ・ルーマニア調査団 -  
**トルコ市場調査報告書**

2008年1月

日本繊維輸出組合

- 目次 -

市場調査団メンバー表 .....	1
市場調査団日程表 .....	2

本文

1. 日本からトルコ向け繊維品輸出の現状 .....	3
(A) トルコ向け主要ワタの輸出 .....	3
(B) トルコ向け主要糸の輸出 .....	4
(C) トルコ向け主要織物の輸出 .....	4
2. トルコの繊維品貿易概況 .....	5
(A) トルコの繊維品品目別貿易概況 .....	5
(B) トルコの繊維品国別貿易概況 .....	6
(C) 日本の主要繊維品のトルコでの競合国 .....	7
3. 日本からトルコ向け繊維品輸出増大の可能性 .....	12
(A) トルコ国内市場をターゲットとする .....	12
(B) EU を始めとする周辺市場をターゲットとする .....	13

本市場調査団が現地訪問の折、ご多忙の最中、温かいご支援及び意義深い現地情報を頂きましたジェトロ・イスタンブール事務所の中島敏博部長及び伊藤忠商事(株)の山根伸介繊維部長をはじめとする現地の方々にお礼申し上げます。

## トルコ・ルーマニア市場調査団メンバー表

伊藤忠商事(株)	清水 源也	テキスタイル貿易 ジーンズ課課長
三菱商事(株)	柳川 勝彦	繊維原料部部长
瀧定大阪(株)	藤井 孝	貿易部次長
豊田通商(株)	土井 拓雄	繊維製品部部长職
日本繊維輸出組合事務局	内海 博基	専務理事
	鬼頭 和男	総務部長

## トルコ・ルーマニア市場調査団日程表

2007年11月10日(土)	23:30	関西国際空港出発	(TK047)
2007年11月11日(日)	05:45	イスタンブール着	
2007年11月12日(月)		現地企業訪問	
2007年11月13日(火)		現地企業訪問	
2007年11月14日(水)		調査団員個別調査	
2007年11月15日(木)	17:05	イスタンブール発	(TK1445)
	18:25	ブカレスト着	
2007年11月16日(金)	19:25	ブカレスト発	(TK1446)
	20:45	イスタンブール着	
	23:45	イスタンブール発	(TK046)
2007年11月17日(土)	17:45	関西国際空港着	

## 1. 日本からのトルコ向け繊維品輸出の現状

日本からトルコ向けの繊維品輸出は、過去3年間少しづつではあるが伸びてきており、2006年で前年比8.3%増の4,689万ドル。しかし日本の全繊維品輸出から見ると、シェア0.6%を占めるに過ぎず、過去3年間の推移を見ても、2005年0.5%、2004年0.5%と大きな変化は見られない。

趨勢としては、ワタ、糸、織物の輸出が中心で、二次製品は製品資材関係が伸びているものの、全体の数字から見れば、僅かなものである。

### トルコ向け繊維品輸出推移

単位：千ドル

	2004年	2005年	2006年
繊維品合計	42,332	43,283	46,886
ワタ	10,360	8,276	14,834
糸	21,523	21,895	20,034
織物	8,418	10,783	9,379
繊維製品	1,947	2,212	2,554
その他	85	116	85

(注) 糸には特殊糸を含む

織物には、不織布、タイヤコード織物、コーテッド織物、  
特殊織物、ニット生地を含む

(出所) 「日本貿易月表」

### - 主要繊維品の輸出概況

日本からトルコ向け繊維輸出の中で、主要品目となっている、ワタ、合繊長繊維糸、合繊長繊維織物の過去3年間の輸出動向は次の通り。

#### (A) トルコ向け主要ワタの輸出

トルコ向けのワタ輸出は、2006年においてスフ綿が前年比169.9%増と大幅な伸びを見たことで、全体としては前年比77.2%増の6,059キログラムとなった。合繊ワタについては、過去ある程度まとまった量が出ていたアクリル・ワタがジリ貧傾向にあるが、一方ポリエステル・ワタが量はいまだ僅かであるが年々輸出を増やしており今後が注目される商品である。

## トルコ向け主要ワタの輸出

単位：キログラム、%

	2004年		2005年		2006年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ワタ合計	5,489	178.9	3,420	62.3	6,059	177.2
スフ綿	1,354	682.0	1,530	113.0	4,130	269.9
合繊ワタ	4,105	153.6	1,889	46.0	1,929	102.1
アクリル	3,737	161.1	1,109	29.7	760	68.6
ポリエステル	352	101.3	777	220.8	1,139	146.5

(出所) 日本貿易月表

## (B) トルコ向け主要糸の輸出

トルコ向け輸出で、最大の金額を占めている糸輸出であるが、そのほとんどが合繊長繊維糸である。その中でも着実な伸びを見せているポリエステル長繊維糸が大半を占めている。絶対量が少ない、ナイロン長繊維糸はスポット的に2004年、2005年と急増したものの、2006年には大きく落ち込んだ。ポリウレタンは2005年に落ち込んだものの2006年には回復した。

単位：キログラム、%

	2004年		2005年		2006年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
糸合計	2,316	134.9	2,907	125.5	2,346	80.7
合繊(長)糸	2,292	134.3	2,887	125.9	2,305	79.8
ナイロン	426	6129.4	857	201.2	76	8.8
ポリエステル	1,416	114.3	1,713	121.0	1,749	102.1
ポリウレタン	400	95.5	239	59.6	444	185.9

(出所) 日本貿易月表

## (C) トルコ向け主要織物の輸出

織物の輸出は、2005年にポリエステル長繊維織物の不振から落ち込んだものの、2006年には回復の兆しを見せた。綿織物が若干の輸出を見ているものの、そのほとんどがポリエステル長繊維織物である。それ以外には、ここでは織物合計に含まれないが、資材用不織布がある程度の量の輸出を見た。

単位:千平方メートル、%

	2004年		2005年		2006年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
織物合計	1,923	132.6	1,638	97.9	2,242	136.9
綿織物	282	102.1	300	106.2	226	75.4
合繊(長)織物	1,567	163.8	1,273	81.2	1,880	147.7
ポリエステル	1,441	153.9	1,254	87.0	1,674	133.5
不織布	737	79.5	1,818	246.6	1,230	67.6

(出所) 日本貿易月表

## 2. トルコの繊維品貿易概況

WTO の報告によると、2006 年におけるトルコの繊維品貿易は、輸出については、テキスタイルが 75 億 9,000 万ドルで世界第 5 位、クロージングが 119 億ドルで世界第 3 位、輸入についてはテキスタイル 46 億 9,000 万ドルで第 7 位、クロージングが 24 億ドルで第 12 位となっており、いずれも黒字となっている。

なお、以下の詳細な統計は、アトラスの統計を使用しており、WTO の数字と異なっていることに留意願いたい。

### (A) トルコの繊維品 品目別貿易概況

2006 年のトルコの繊維品貿易は、下記の表に見られるごとく、輸出はアパレルとその他で 87.3% を占めており川下が圧倒的に多く、反対に輸入は川上、川中で 84.2% のシェアを占めるといった典型的な加工貿易型となっている。綿花の生産は世界第 6 位、化合繊の生産も世界第 8 位の生産量であるが、国内繊維産業の需要をまかないきれず、原材料の輸入依存度が拡大しているのが現状である。

2006 年の金額ベースで、トルコの最大の輸出品目はニット製衣料でシェア 44%、次いで布帛製衣料品同 28% と、衣料品で 72% を占めている。

同じく 2006 年の金額ベースで最大の輸入品目はシェア 11% の綿織物で、次いでポリエステル長繊維糸 7%、布帛製衣料 6%、スフ綿 5%、綿糸 4% となっている。

2006 年の繊維品輸出は前年比 28% 減の 136 億 7,618 万ドル、輸入は同 25% 減の 50 億 5,672 万ドルと輸出入とも不振であった。

## 2006年 トルコの商品別繊維品貿易

単位:百万ドル、%

	輸 出		輸 入	
	金額	シェア	金額	シェア
繊維品合計	13,676	100.0	5,057	100.0
ワタ	86	0.6	1,534	30.3
糸	455	3.3	1,299	25.7
織物	1,184	8.7	1,427	28.2
アパレル	9,823	71.8	436	8.6
その他	2,128	15.6	361	7.1

(出所) アトラス

(注) 糸には特殊糸を含む

織物には、不織布、タイヤコード織物、コーテッド織物、  
特殊織物、ニット生地を含む

### (B) トルコの繊維品 国別貿易概況

トルコの2006年における繊維品輸出はEU向けがシェア74.8%とそのほとんどを占めている。下記の表からも明らか通り上位10カ国で77.8%のシェア占めているが、第3位の米国、第8位のロシアをのぞいて全てEU諸国で占められている。

一方、2006年の繊維品輸入は、EUからの輸入が29.5%と最大のシェアを占めているが、国別単位で見るとトップの中国を始めとして、シェア72.6%を占める10カ国にインド、韓国、パキスタン、インドネシア、マレーシアと東アジア諸国が6カ国を締めている。なお、中国については、近年の輸入の激増振りから、2005年からトルコ側でセーフガードを発動、42カテゴリー品目について、2006年には2カテゴリーを追加して、44カテゴリーについて現在輸入制限を行っている。

### 2006年 トルコの主要国別繊維品貿易動向

単位:百万ドル、%

	輸 出			輸 入	
	金額	シェア		金額	シェア
繊維品合計	13,676	100.0	繊維品合計	5,057	100.0
ドイツ	3,352	24.5	中国	825	16.3
英国	2,221	16.2	イタリア	597	11.8
イタリア	930	6.8	米国	547	10.8

フランス	876	6.4	インド	311	6.1
米国	819	6.0	ドイツ	298	5.9
オランダ	792	5.8	インドネシア	267	5.3
スペイン	585	4.3	パキスタン	239	4.7
ロシア	441	3.2	ギリシャ	219	4.3
デンマーク	359	2.6	韓国	215	4.3
ルーマニア	280	2.0	マレーシア	155	3.1

(出所) アトラス

### (C) 日本の主要繊維品のトルコでの競合国

日本の全体から見ればごく僅かでしかないトルコ向け繊維品輸出であるが、その中で主要商品であるスフ綿、アクリル綿、ポリエステル綿、ポリエステル長繊維糸、ポリエステル長繊維織物について、2006年ベースでのトルコの輸入国は次の通りである。

#### 〔スフ綿〕

トルコにおけるスフ綿の輸入については、2006年ベースでオーストリアが25,411トン、シェア18.7%でトップの位置にあり、次いで中国、インドネシア、台湾、タイランドとアジア勢が続いている。日本は13位で428トン、シェアはないに等しい。なお価格的には、第10位の英国がキロ当たり3.93ドルと飛び抜けて高いが、その他はキロ当たり2ドル前後であり、日本のキロ当たり1.91ドルから見て、日本品と同クラスのものと思われ、価格的に太刀打ちできず今後期待薄である。

### トルコにおけるスフ綿の輸入状況

単位：トン、ドル/トン

国名	2005年実績		2006年実績	
	数量	単価	数量	単価
合計	120,979	1.98	135,711	1.88
オーストリア	25,226	2.06	25,411	2.20
中国	5,794	1.77	24,606	1.75
インドネシア	14,532	1.69	16,364	1.76
台湾	7,937	1.66	15,424	1.75

タイランド	8,936	1.60	14,232	1.74
ドイツ	13,564	2.43	10,994	1.92
ロシア	14,681	1.67	10,951	1.68
フィンランド	11,680	1.74	10,044	1.81
インド	3,087	1.78	3,744	1.93
英国	3,044	3.85	1,641	3.93
日本(13位)	988	2.78	816	1.91

(出所) : アトラス

#### [ポリエステル綿]

トルコの2006年の輸入は前年比27.7%減の43,732トン。内、中国からが同37.4%増の30,944トン、シェア70.8%と飛び抜けている。続いて意外であるが前年比51.3%減のサウジアラビアが続き、あとパキスタン、台湾、日本の順序となっている。価格的にはキロ当たり1.5ドル前後から2ドルまでにあり、日本品がシェアを拡大するのは難しい状況にある。なお、日本に次いで6位のドイツの単価がキロ当たり3.32ドルとなっているのが注目される。

#### トルコにおけるポリエステル綿の輸入状況

単位 : トン、ドル/トン

国名	2005年実績		2006年実績	
	数量	単価	数量	単価
合計	60,447	1.43	43,732	1.49
中国	22,557	1.35	30,994	1.43
サウジアラビア	9,183	1.37	4,469	1.43
パキスタン	10,283	1.33	3,011	1.33
台湾	1,764	1.53	2,457	1.67
日本	856	1.69	857	1.92
ドイツ	1,001	2.91	815	3.32

アイルランド	1,485	1.74	485	1.95
インド	2,770	1.40	404	1.51
韓国	130	1.63	172	1.66
ルーマニア	0	-	101	1.64

(出所) : アトラス

### [アクリル綿]

トルコの2006年アクリル綿の全輸入量は前年比8.8%減の95,525トン。内、ドイツからがシェア43.9%でトップ、次いでイタリア、ベラルーシ、ロシア、ポルトガルと続き、上位にある国は量を伸ばしているが、下位の国の減少が目立った。日本は前年比91.2%減の激減で129トン、シェアは0.1%で前年の9位から12位にまで落ち込んだ。当該商品は、先進国からの輸入が多く、価格的には2ドルから3ドルとなっている。日本品も一次はそれなりの量を見たが、商品に特に目立った特長もないことから、ジリ貧傾向を辿った。

### トルコにおけるアクリル綿の輸入状況

単位 : トン、ドル/トン

国名	2005年実績		2006年実績	
	数量	単価	数量	単価
合計	104,746	1.94	95,525	2.17
ドイツ	38,673	2.04	41,911	2.29
イタリア	32,299	1.89	33,857	2.15
ベラルーシ	5,319	1.79	6,127	1.92
ロシア	6,622	1.71	5,708	1.93
ポルトガル	8,013	1.92	4,212	2.10
ペルー	2,080	1.88	1,668	2.07
ハンガリー	1,010	0.55	785	2.97
英国	1,908	2.81	597	1.96

ウズベキスタン	146	1.64	191	2.22
タイランド	0	-	179	1.88
日本(12位)	1,463	2.11	129	2.36

(出所) : アトラス

#### [ポリエステル長繊維系]

トルコの2006年におけるポリエステル長繊維系の輸入は、前年比4.3%減の17万1,759トンと糸の輸入では最大の輸入量となっている。その中で前年比で116.4%増の中国がシェア25.0%、マレーシアがシェア24.9%と両国で半分を占めている。中国が前年比激増、マレーシアが3.5%減と2005年と2006年で立場が完全に逆転している。日本からの輸入は、前年比2.0%増と伸びており、単価もキロ当たり9.55ドルと、中国の同1.79ドル、マレーシアの同1.78ドルと大きく異なっており、商品が全く異なっていることは明らかである。上位10カ国は、スイスとドイツを除いては、全て東アジア諸国で占められている。

#### トルコにおけるポリエステル長繊維系の輸入状況

単位 : トン、ドル/トン

国名	2005年実績		2006年実績	
	数量	単価	数量	単価
合計	179,445	2.17	171,759	2.12
中国	19,871	1.88	42,996	1.79
マレーシア	44,271	1.73	42,715	1.78
韓国	31,912	2.21	19,973	2.66
インドネシア	13,990	1.75	16,827	1.90
タイランド	13,360	1.92	14,052	2.07
スイス	16,667	2.44	12,391	2.58
インド	6,478	1.91	10,643	1.78
台湾	13,457	1.74	5,407	2.12
ドイツ	5,363	2.97	3,306	2.86

日本	1,631	10.65	1,663	9.55
----	-------	-------	-------	------

(出所) : アトラス

**〔ポリエステル長繊維織物〕**

ポリエステル長繊維織物は、織物輸入の中で綿織物に次いで大きなシェアを持っている。2006年の輸入量は、対前年比12.1%減の3億1,405万平方メートルで、内マレーシアからの輸入量が62.7%のシェアを有して他を圧しており、以下韓国、インドネシアと続いている。中国からの輸出は前年比29.7%減と大きくおちこんだが、これは中国からの商品に対してダンピングの疑いをもたれたことが影響したものと思われ、いずれ復活してくるものと思われる。日本からの輸入は、全体の12番目で、前年比83.6%減の11万平方メートルに過ぎなかった。単価的には、マレーシア平方メートル当り24セント、日本品同4.52ドルと、全く品質の異なったものであり、日本の競争品としては、イタリアや英国品が考えられる。。

**トルコにおけるポリエステル長繊維織物の輸入状況**

単位 :1000SM、ドル/SM

国名	2005年実績		2006年実績	
	数量	単価	数量	単価
合計	357,380	0.74	314,053	0.54
マレーシア	185,099	0.29	197,070	0.24
韓国	64,898	1.47	40,979	1.32
インドネシア	21,992	0.95	26,875	0.94
チェコ	24,329	0.45	23,033	0.38
中国	28,706	1.36	20,174	1.14
ドイツ	3,096	1.67	2,052	1.41
台湾	2,388	1.25	1,060	1.45
イタリア	3,729	1.64	898	3.89
フィリピン	7,149	0.77	755	1.30
英国	3,803	1.41	350	2.75

日本(11位)	657	3.79	108	4.52
---------	-----	------	-----	------

(出所) : アトラス

### 3. 日本からトルコ向け繊維品輸出の増大の可能性

このような状況下にあつて、今後日本からのトルコ向け繊維品輸出増加の可能性を探るにあつて、トルコ国内市場そのものを目標とすること、トルコを加工基地として EU を始めとする周辺市場向け輸出原材料の提供を目標とする二つの道が考えられる。

#### (A)トルコ国内市場をターゲットとする

常にトルコの安定的・持続的経済成長を阻んできた政治的要因については、現在モイスラム系与党と世俗主義派の対立、北イラクに拠点を置くクルド武装勢力との対立などが危惧されるが、総選挙や大統領選挙も無事終了し、トルコ国内市場については、今後の経済の潜在的成長を期待を持って眺めることが出来る。消費市場として眺めた場合、

人口 7206 万人(2005 年推計)、層の厚い若年人口を有しており(24 歳までの人口が全体の 55.0%、29 歳以下になると同 63.5%を占める)、中長期的に購買力を有した消費者の出現が期待できること

23 四半期連続のプラス成長を続けているマクロ経済の安定。また、ゴールドマン・サックスが人口規模と潜在的な成長性によって選出した NEXT11 の一員であること

比較的高級品の取扱いが多いショッピング・モールの建設ラッシュ

国内ブランド品が近代的なショッピング・センターやモールなどでかなり高い値段で販売されていること

〔国内有名ブランド〕

紳士・婦人服：キール、ベイメン、ネットワーク、ダマト、サラル、ヤルグジュなど

カジュアル：オクソ、FBI、ムド、トゥイーンなど

国内のアパレルメーカーの中には、中国品を始めとする定番品の取扱から高級品への転換を図っているところが見られる

などから見て、いまだ認識の低い日本の差別化、高付加価値商品に対するプレゼンテーションをトルコ国内で開催されている展示会への出品や個別の展示会等を通じて行い、日本品への需要を掘り起こしていけば商機が芽生える可能性は高く、いったん商売が出来れば、親日的な国民性から息の長い取引に結びつく可能性がある。

## (B)EU を始めとする周辺市場をターゲットとする

トルコを加工基地として、EU を始めとする周辺地域への輸出に対して、輸出原材料を提供する道が、トルコ向け輸出を考える場合、一番オーソドックスな方法である。

EU や潤沢な外貨の保有で富裕層が広がりつつあるロシア、中東地域など、高級品が売れる市場に近いこと。

またこれら地域へのクイック・レスポンスが可能なこと。

中国品などの定番品との競争に脅威を抱くメーカーの中には、国内市場から離れて、高級品を周辺諸国への販売の中心にすえ、それに集中しようとしていること

周辺地域に比べて賃金は割高であるが、勤勉で器用であり、教育水準も高い

世界で有名なブランド品がトルコ国内で OEM 生産されていること

過去の実績から、これら地域向け輸出については、広範囲な販売ネットワークを抱えていること

1996 年に発効したトルコの EU との関税同盟、さらに周辺地域との FTA(自由貿易協定)の締結

**トルコの FTA 締結国:ルーマニア、ブルガリア、クロアチア、マケドニア、ボスニア、ヘルツェゴヴィナ、EFTA、イスラエル、パレスチナ、チュニジア、モロッコ、については既に発効、シリア、エジプトとは締結済み**

などから、今後、海外向け高級品を取り扱いたいと考えているメーカーに日本の差別化・高付加価値商品に対する需要が見込まれる。

そのためには、日本品についての認識が低いトルコの繊維産業に、トルコ国内で開催される展示会や国際的な展示会あるいは個別の展示会でのプレゼンテーションなどを通じて日本品の良さを息長くアピールしていくことが必要である。ただし国民性として、目先の利益を追うことに熱心で、長期的な展望を持たないので、日本側で長期的な展望について、地図を描いて両方で協力して取引を進めていくことが必要である。

そうすることによって高付加価値で、品質の良い商品展開を考えているトルコの繊維業界と協力体制を築くことが出来、輸出促進に繋がっていくものと思われる。